

## 資 料

### 学校教育を通じた社会的規範意識の向上を目指す取組の研究

— 大阪府公立小中学校生徒指導主事調査 2010 —

深川八郎 村田俊明 朝日素明

A Study of Cause and Effect in the Development of Pupil's Social Morals in Elementary  
and Junior High School Education :A Questionnaire for Advisory Teachers  
in Elementary and Junior High Schools in Osaka

Hachiro FUKAGAWA Toshiaki MURATA Motoaki ASAHI

#### 調査の概要

##### 1. 調査目的

ここ数年来「モラルハザード」が指摘されている。「格差社会」と溢れるモノの中で、「市民モラル」が低下している。地域社会の崩壊とともに、子どもたちの集団づくりの場は学校の中だけに限られ、子どもたちの人間形成の責任も問われている。

学校現場の教師たちは、子どもたちに社会生活を営む基本的なルールとなるモラルをいかに身につけさせることができるかに、日々悩んでおり、学校教育の課題でもある。

本調査研究では、この問題意識のもとに、本来、地域社会や家庭環境の中で身につけていたモラルやマナーを何処かで養っていかざるを得ないと感じている教師の思いや意識を把握し、子どもたちの社会力の向上につないでいくことを目的としている。

##### 2. 調査方法

- |          |                            |
|----------|----------------------------|
| (1) 調査対象 | 生徒指導担当教諭（大阪府下 12 市の公立小中学校） |
| (2) 方 法  | 質問紙郵送法（学校長を通じ回答依頼）         |
| (3) 調査時期 | 2010 年 2 月 15 日～3 月 15 日   |

3. 回収率

	小学校	全校数	回収率	中学校	全校数	回収率
守口市	5	18	27.8	3	9	42.9
門真市	2	16	12.5	3	7	83.3
寝屋川市	13	24	54.2	10	12	31.6
枚方市	16	45	35.6	6	19	37.5
大東市	3	15	20.0	3	8	37.5
四条畷市	2	7	28.6	0	4	50.0
交野市	5	10	50.0	2	4	42.3
東大阪市	24	54	44.4	11	26	53.3
八尾市	8	29	27.6	8	15	66.7
柏原市	1	10	10.0	4	6	85.7
箕面市	1	13	7.7	6	7	16.7
高槻市	7	41	17.1	3	18	43.7
合計	87	282	30.9	59	135	43.7

(注)回収率は%表示

4. その他 集計は村田が担当しました。詳細な分析は、次号以降、掲載を予定しています。

**調査結果**

調査対象の概要

学校規模別(生徒数) 小学校 N=87 中学校 N=59

	小学校	中学校	合計
800人以上	10.3	1.7	6.8
500人以上~799人以下	42.5	47.5	44.5
250人以上~499人以下	34.5	45.8	39.0
249人以下	12.6	3.4	8.9
NA	0.0	1.7	0.7
合計	100.0	100.0	100.0

年齢別 小学校 N=87 中学校 N=59

	小学校	中学校	合計
20歳代	12.6	1.7	8.2
30歳代	17.2	27.1	21.2
40歳代	6.9	20.3	12.3
50歳代	62.1	50.8	57.5
NA	1.1	0.0	0.7
合計	100.0	100.0	100.0

生徒指導担当期間別 小学校 N=87 中学校 N=59

	小学校	中学校	合計
3年未満	40.2	39.0	39.7
3年以上5年未満	21.8	18.6	20.5
5年以上10年未満	16.1	30.5	21.9
10年以上	14.9	10.2	13.0
NA	6.9	1.7	4.8
合計	100.0	100.0	100.0

男女別 小学校 N=87 中学校 N=59

	小学校	中学校	合計
女	34.5	6.8	23.3
男	64.4	91.5	75.3
NA	1.1	1.7	1.4
合計	100.0	100.0	100.0

(注)2010年2月現在の担当期間  
各表の数値は%表示

問1 増加傾向にある生徒指導課題

	小学校 N=87						
	1位	2位	3位	4位	5位	無回答	合計
ア. 暴力行為	8.0	17.2	14.9	39.1	3.4	17.2	100.0
イ. いじめ	17.2	20.7	37.9	10.3	1.1	12.6	100.0
ウ. 不登校	46.0	24.1	11.5	8.0	1.1	9.2	100.0
エ. 怠学	17.2	26.4	17.2	21.8	3.4	13.8	100.0
オ. その他	4.6	3.4	1.1	0.0	11.5	79.3	100.0

(注)以下の各表の  
 数値は%表示

	中学校 N=59						
	1位	2位	3位	4位	5位	無回答	合計
ア. 暴力行為	30.5	10.2	32.2	22.0	3.4	1.7	100.0
イ. いじめ	1.7	20.3	23.7	42.4	10.2	1.7	100.0
ウ. 不登校	40.7	33.9	16.9	8.5	0.0	0.0	100.0
エ. 怠学	22.0	32.2	22.0	23.7	0.0	0.0	100.0
オ. その他	5.1	3.4	3.4	1.7	25.4	61.0	100.0

問2 課題増加の原因

	小学校 N=87								
	1位	2位	3位	4位	5位	6位	無回答	合計	
ア. 家庭の教育力の低下	62.1	21.8	6.9	4.6	0.0	0.0	4.6	100.0	
イ. テレビゲーム、携帯電話等	16.1	25.3	25.3	17.2	4.6	1.1	10.3	100.0	
ウ. 格差社会と生きる目標の喪失	2.3	8.0	19.5	14.9	40.2	2.3	12.6	100.0	
エ. 考える力の低下	5.7	20.7	20.7	31.0	13.8	0.0	8.0	100.0	
オ. 地域社会の崩壊	8.0	18.4	18.4	18.4	26.4	0.0	10.3	100.0	
カ. その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	

	中学校 N=59								
	1位	2位	3位	4位	5位	6位	無回答	合計	
ア. 家庭の教育力の低下	71.2	16.9	11.9	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	
イ. テレビゲーム、携帯電話等	11.9	22.0	37.3	15.3	11.9	1.7	0.0	100.0	
ウ. 格差社会と生きる目標の喪失	3.4	5.1	3.4	32.2	50.8	1.7	3.4	100.0	
エ. 考える力の低下	8.5	22.0	32.2	22.0	11.9	3.4	0.0	100.0	
オ. 地域社会の崩壊	3.4	27.1	15.3	30.5	22.0	0.0	1.7	100.0	
カ. その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	

問3 防止対策

	小学校 N=87							合計
	1位	2位	3位	4位	5位	6位	無回答	
ア. 家庭での厳しい躰	21.8	25.3	28.7	3.4	1.1	0.0	19.5	100.0
イ. 警察、児童相談施設等との連携強化	8.0	37.9	37.9	6.9	2.3	0.0	6.9	100.0
ウ. 家庭訪問等による保護者との連携	52.9	27.6	11.5	0.0	3.4	0.0	4.6	100.0
エ. 校則の厳罰化	1.1	1.1	5.7	47.1	11.5	1.1	32.2	100.0
オ. 退学・停学処分等の制度導入	0.0	2.3	6.9	10.3	44.8	2.3	33.3	100.0
カ. その他	11.5	2.3	0.0	0.0	1.1	10.3	74.7	100.0

	中学校 N=59							合計
	1位	2位	3位	4位	5位	6位	無回答	
ア. 家庭での厳しい躰	42.4	11.9	23.7	13.6	0.0	0.0	8.5	100.0
イ. 警察、児童相談施設等との連携強化	10.2	22.0	33.9	15.3	15.3	0.0	3.4	100.0
ウ. 家庭訪問等による保護者との連携	28.8	39.0	18.6	8.5	1.7	1.7	1.7	100.0
エ. 校則の厳罰化	1.7	8.5	8.5	35.6	32.2	0.0	13.6	100.0
オ. 退学・停学処分等の制度導入	8.5	10.2	6.8	20.3	35.6	5.1	13.6	100.0
カ. その他	8.5	5.1	0.0	0.0	0.0	15.3	71.2	100.0

問4 モラルハザードの要因

	小学校 N=87							合計
	1位	2位	3位	4位	5位	無回答		
ア. 格差社会の到来	5.7	13.8	17.2	48.3	2.3	12.6	100.0	
イ. 消費化社会の影響	13.8	20.7	35.6	21.8	1.1	6.9	100.0	
ウ. テレビ等メディア報道・番組の低劣化	16.1	34.5	29.9	11.5	0.0	8.0	100.0	
エ. 家庭の教育力低下	58.6	24.1	6.9	4.6	0.0	5.7	100.0	
オ. その他	1.1	1.1	1.1	0.0	13.8	82.8	100.0	

	中学校 N=59							合計
	1位	2位	3位	4位	5位	無回答		
ア. 格差社会の到来	6.8	10.2	20.3	49.2	3.4	10.2	100.0	
イ. 消費化社会の影響	5.1	28.8	42.4	20.3	0.0	3.4	100.0	
ウ. テレビ等メディア報道・番組の低劣化	13.6	33.9	28.8	18.6	0.0	5.1	100.0	
エ. 家庭の教育力低下	71.2	23.7	3.4	0.0	0.0	1.7	100.0	
オ. その他	3.4	3.4	0.0	0.0	16.9	76.3	100.0	

学校教育を通じた社会的規範意識の向上を目指す取組の研究  
 — 大阪府公立小中学校生徒指導主事調査 2010 —

問5 道徳律を身に付けさせる取組み

	小学校 N=87							合計
	1位	2位	3位	4位	5位	6位	無回答	
ア. 日常のキメ細かな生活指導	32.2	36.8	12.6	9.2	5.7	0.0	3.4	100.0
イ. 集団づくりによる好ましい人間関係の確立	44.8	29.9	16.1	3.4	1.1	1.1	3.4	100.0
ウ. 生き方・価値観等を教える道徳教育の充実	10.3	19.5	28.7	25.3	8.0	0.0	8.0	100.0
エ. 率先垂範、教師の生き方を身をもって示す取組	3.4	2.3	18.4	25.3	37.9	1.1	11.5	100.0
オ. 家庭訪問の充実	4.6	9.2	18.4	27.6	31.0	0.0	9.2	100.0
カ. その他	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	11.5	86.2	100.0

	中学校 N=59							合計
	1位	2位	3位	4位	5位	6位	無回答	
ア. 日常のキメ細かな生活指導	25.4	25.4	25.4	16.9	1.7	1.7	3.4	100.0
イ. 集団づくりによる好ましい人間関係の確立	35.6	32.2	23.7	5.1	1.7	0.0	1.7	100.0
ウ. 生き方・価値観等を教える道徳教育の充実	22.0	27.1	23.7	15.3	5.1	0.0	6.8	100.0
エ. 率先垂範、教師の生き方を身をもって示す取組	6.8	1.7	6.8	35.6	42.4	1.7	5.1	100.0
オ. 家庭訪問の充実	6.8	11.9	15.3	20.3	39.0	0.0	6.8	100.0
カ. その他	6.8	1.7	0.0	0.0	0.0	13.6	78.0	100.0

問6. 規範意識の確立と学校教育に求められること

	小学校 N=87						合計
	1位	2位	3位	4位	無回答		
ア. 人間の生き方・教育理念の確立	69.0	11.5	14.9	0.0	4.6	100.0	
イ. 模範となる方を学校に招く等、開かれた学校づくり	9.2	41.4	40.2	0.0	9.2	100.0	
ウ. 地域と連携した幅広い市民運動	19.5	40.2	32.2	2.3	5.7	100.0	
エ. その他	1.1	1.1	1.1	12.6	83.9	100.0	

	中学校 N=59						合計
	1位	2位	3位	4位	無回答		
ア. 人間の生き方・教育理念の確立	61.0	22.0	13.6	0.0	3.4	100.0	
イ. 模範となる方を学校に招く等、開かれた学校づくり	3.4	35.6	52.5	1.7	6.8	100.0	
ウ. 地域と連携した幅広い市民運動	28.8	37.3	27.1	0.0	6.8	100.0	
エ. その他	6.8	0.0	0.0	13.6	79.7	100.0	

問7. 小学生・中学生の意識や行動について特徴的なこと

	小学校 N=87				
	1位	2位	3位	無回答	合計
ア. 我がままで自己中心的である	21.8	11.5	5.7	60.9	100.0
イ. 思いやりの気持ちが足りない	5.7	2.3	3.4	88.5	100.0
ウ. 言葉による自己表現が苦手である	27.6	16.1	10.3	46.0	100.0
エ. 友だちづくりが苦手である	1.1	5.7	4.6	88.5	100.0
オ. キレやすく、衝動的である	9.2	8.0	9.2	73.6	100.0
カ. 気持ちが揺れ動き、情緒不安定である	5.7	3.4	2.3	88.5	100.0
キ. 感情の発露が見えず内向的	0.0	0.0	1.1	98.9	100.0
ク. がまん・忍耐力が足りない	19.5	21.8	17.2	41.4	100.0
ケ. 進んで物事に取り組む自主性が欠如	2.3	8.0	5.7	83.9	100.0
コ. 周りの友だちと協調することが少ない	0.0	1.1	8.0	90.8	100.0
サ. 規範意識が希薄	1.1	6.9	14.9	77.0	100.0
シ. 孤立感・疎外感が深い	0.0	2.3	0.0	97.7	100.0
ス. マナー意識が低い	2.3	5.7	6.9	85.1	100.0
セ. 自己を律することができない	1.1	5.7	6.9	86.2	100.0
ソ. クラスや仲間集団への所属意識が低い	1.1	0.0	2.3	96.6	100.0
タ. その他	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0

  

	中学校 N=59				
	1位	2位	3位	無回答	合計
ア. 我がままで自己中心的である	23.7	11.9	8.5	55.9	100.0
イ. 思いやりの気持ちが足りない	5.1	6.8	1.7	86.4	100.0
ウ. 言葉による自己表現が苦手である	22.0	10.2	10.2	57.6	100.0
エ. 友だちづくりが苦手である	3.4	5.1	3.4	88.1	100.0
オ. キレやすく、衝動的である	8.5	6.8	6.8	78.0	100.0
カ. 気持ちが揺れ動き、情緒不安定である	0.0	3.4	3.4	93.2	100.0
キ. 感情の発露が見えず内向的	0.0	1.7	0.0	98.3	100.0
ク. がまん・忍耐力が足りない	18.6	18.6	18.6	44.1	100.0
ケ. 進んで物事に取り組む自主性が欠如	0.0	5.1	6.8	88.1	100.0
コ. 周りの友だちと協調することが少ない	0.0	0.0	3.4	96.6	100.0
サ. 規範意識が希薄	10.2	18.6	11.9	59.3	100.0
シ. 孤立感・疎外感が深い	1.7	0.0	1.7	96.6	100.0
ス. マナー意識が低い	1.7	6.8	8.5	83.1	100.0
セ. 自己を律することができない	3.4	5.1	10.2	81.4	100.0
ソ. クラスや仲間集団への所属意識が低い	1.7	0.0	5.1	93.2	100.0
タ. その他	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0

問8. 小学生・中学生の意識と行動の変化に対応する取組み

	小学校 N=87				
	1位	2位	3位	無回答	合計
ア. 基本的生活習慣の確立	44.8	8.0	8.0	39.1	100.0
イ. 道徳の時間などによる生き方指導	0.0	4.6	9.2	86.2	100.0
ウ. 生活リズムの改善	5.7	8.0	2.3	83.9	100.0
エ. 学力向上をめざす教科指導の充実	10.3	25.3	16.1	48.3	100.0
オ. 規範意識の向上	3.4	11.5	9.2	75.9	100.0
カ. 子どもの悩み等に応える相談活動	1.1	2.3	5.7	90.8	100.0
キ. 組織的な生活指導	10.3	11.5	8.0	70.1	100.0
ク. 実感ある体験・ボランティア活動	1.1	3.4	1.1	94.3	100.0
ケ. 自治的集団づくりと主体性の育成	6.9	6.9	4.6	81.6	100.0
コ. 保護者の啓発・連携	2.3	0.0	12.6	85.1	100.0
サ. 生徒と教師の信頼関係づくり	9.2	8.0	10.3	72.4	100.0
シ. 学校行事を通じた集団的訓練	0.0	3.4	8.0	88.5	100.0
ス. 部活動の充実	0.0	1.1	0.0	98.9	100.0
セ. 校内環境の整備	0.0	2.3	1.1	96.6	100.0
ソ. その他	1.1	0.0	0.0	98.9	100.0

	中学校 N=59				
	1位	2位	3位	無回答	合計
ア. 基本的生活習慣の確立	35.6	11.9	5.1	47.5	100.0
イ. 道徳の時間などによる生き方指導	0.0	10.2	3.4	86.4	100.0
ウ. 生活リズムの改善	0.0	1.7	0.0	98.3	100.0
エ. 学力向上をめざす教科指導の充実	13.6	3.4	16.9	66.1	100.0
オ. 規範意識の向上	8.5	11.9	10.2	69.5	100.0
カ. 子どもの悩み等に応える相談活動	1.7	5.1	1.7	91.5	100.0
キ. 組織的な生活指導	11.9	20.3	13.6	54.2	100.0
ク. 実感ある体験・ボランティア活動	0.0	3.4	5.1	91.5	100.0
ケ. 自治的集団づくりと主体性の育成	5.1	8.5	5.1	81.4	100.0
コ. 保護者の啓発・連携	1.7	0.0	11.9	86.4	100.0
サ. 生徒と教師の信頼関係づくり	18.6	13.6	11.9	55.9	100.0
シ. 学校行事を通じた集団的訓練	0.0	1.7	1.7	96.6	100.0
ス. 部活動の充実	3.4	5.1	8.5	83.1	100.0
セ. 校内環境の整備	0.0	3.4	5.1	91.5	100.0
ソ. その他	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0

問9. 問8の回答欄の取り組みの成果

	小学校 N=87					合計
	おおいに成果が上っている	どちらかといえば、成果が上がっている	どちらかといえば、成果が上がっていない	ほとんど成果が上がっていない	無回答	
ア. 基本的生活習慣の確立	2.3	44.8	12.6	0.0	40.2	100.0
イ. 道徳の時間などによる生き方指導	1.1	8.0	4.6	0.0	86.2	100.0
ウ. 生活リズムの改善	0.0	13.8	2.3	0.0	83.9	100.0
エ. 学力向上をめざす教科指導の充実	5.7	41.4	4.6	0.0	48.3	100.0
オ. 規範意識の向上	1.1	19.5	3.4	0.0	75.9	100.0
カ. 子どもの悩み等に応える相談活動	1.1	6.9	1.1	0.0	90.8	100.0
キ. 組織的な生活指導	6.9	18.4	2.3	2.3	70.1	100.0
ク. 実感ある体験・ボランティア活動	1.1	4.6	0.0	0.0	94.3	100.0
ケ. 自治的集団づくりと主体性の育成	0.0	17.2	1.1	0.0	81.6	100.0
コ. 保護者の啓発・連携	1.1	9.2	3.4	0.0	86.2	100.0
サ. 生徒と教師の信頼関係づくり	2.3	20.7	3.4	0.0	73.6	100.0
シ. 学校行事を通した集団的訓練	2.3	8.0	1.1	0.0	88.5	100.0
ス. 部活動の充実	0.0	1.1	0.0	0.0	98.9	100.0
セ. 校内環境の整備	0.0	2.3	1.1	0.0	96.6	100.0
ソ. その他	0.0	1.1	0.0	0.0	98.9	100.0

	中学校 N=59					合計
	おおいに成果が上っている	どちらかといえば、成果が上がっている	どちらかといえば、成果が上がっていない	ほとんど成果が上がっていない	無回答	
ア. 基本的生活習慣の確立	0.0	39.0	15.3	0.0	45.8	100.0
イ. 道徳の時間などによる生き方指導	0.0	6.8	5.1	0.0	88.1	100.0
ウ. 生活リズムの改善	0.0	1.7	0.0	0.0	98.3	100.0
エ. 学力向上をめざす教科指導の充実	0.0	28.8	5.1	0.0	66.1	100.0
オ. 規範意識の向上	1.7	16.9	11.9	0.0	69.5	100.0
カ. 子どもの悩み等に応える相談活動	1.7	5.1	1.7	0.0	91.5	100.0
キ. 組織的な生活指導	8.5	30.5	6.8	0.0	54.2	100.0
ク. 実感ある体験・ボランティア活動	1.7	5.1	1.7	0.0	91.5	100.0
ケ. 自治的集団づくりと主体性の育成	1.7	16.9	0.0	0.0	81.4	100.0
コ. 保護者の啓発・連携	0.0	10.2	3.4	0.0	86.4	100.0
サ. 生徒と教師の信頼関係づくり	1.7	32.2	10.2	0.0	55.9	100.0
シ. 学校行事を通した集団的訓練	0.0	3.4	0.0	0.0	96.6	100.0
ス. 部活動の充実	5.1	8.5	3.4	0.0	79.7	100.0
セ. 校内環境の整備	3.4	5.1	0.0	0.0	91.5	100.0
ソ. その他	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0

問10. ゆたかな心を育むため、学校が推進すべきこと

	小学校 N=87				
	1位	2位	3位	無回答	合計
ア. 学校道徳教育の充実	14.9	11.5	13.8	59.8	100.0
イ. 児童・生徒指導の方針・方法の見直し	6.9	9.2	8.0	75.9	100.0
ウ. 教師の資質向上と生徒指導力量の向上	33.3	24.1	9.2	33.3	100.0
エ. 児童・生徒と教師の信頼関係づくり	32.2	16.1	6.9	44.8	100.0
オ. 警察や防犯協会、福祉等諸団体など学校外の教育力の導入	1.1	1.1	2.3	95.4	100.0
カ. 厳罰主義に基づく生徒指導	0.0	0.0	2.3	97.7	100.0
キ. 地域行事等を通じ、保護者・地域との連携強化	3.4	12.6	20.7	63.2	100.0
ク. 体験・ボランティア活動の充実を図るカリキュラム改善	1.1	6.9	8.0	83.9	100.0
ケ. スクールカウンセラーの相談活動の強化や密接な連携	1.1	8.0	13.8	77.0	100.0
コ. 生徒会活動の充実による自治的集団づくり	1.1	5.7	3.4	89.7	100.0
サ. 学校行事の充実	0.0	1.1	5.7	93.1	100.0
シ. 部活動の活発化	0.0	1.1	1.1	97.7	100.0
ス. その他	2.3	0.0	1.1	96.6	100.0

	中学校 N=59				
	1位	2位	3位	無回答	合計
ア. 学校道徳教育の充実	8.5	6.8	6.8	78.0	100.0
イ. 児童・生徒指導の方針・方法の見直し	5.1	6.8	0.0	88.1	100.0
ウ. 教師の資質向上と生徒指導力量の向上	37.3	20.3	5.1	37.3	100.0
エ. 児童・生徒と教師の信頼関係づくり	28.8	13.6	11.9	45.8	100.0
オ. 警察や防犯協会、福祉等諸団体など学校外の教育力の導入	0.0	5.1	3.4	91.5	100.0
カ. 厳罰主義に基づく生徒指導	1.7	0.0	3.4	94.9	100.0
キ. 地域行事等を通じ、保護者・地域との連携強化	1.7	10.2	6.8	81.4	100.0
ク. 体験・ボランティア活動の充実を図るカリキュラム改善	0.0	1.7	6.8	91.5	100.0
ケ. スクールカウンセラーの相談活動の強化や密接な連携	0.0	1.7	8.5	89.8	100.0
コ. 生徒会活動の充実による自治的集団づくり	10.2	27.1	23.7	39.0	100.0
サ. 学校行事の充実	0.0	3.4	8.5	88.1	100.0
シ. 部活動の活発化	1.7	3.4	13.6	81.4	100.0
ス. その他	5.1	0.0	1.7	140.7	100.0

ご協力をお願い

## 学校教育を通じた社会的規範意識の向上を目指す取組の研究

—大阪府公立小中学校生徒指導主事調査 2010—

厳しい寒さに耐えて梅の蕾が少しずつ膨らもうとしている姿に、春を告げる季節の変化が感じ取られる今日この頃、学校現場の先生方におかれましては益々ご健勝のこと存じ上げます。

さて、ここ数年来「モラルハザード（倫理崩壊）」が、教育関係者だけでなく、広く日本の将来を懸念する様々な方々から指摘されています。「格差社会」と言われる中にあっても、日々の生活はモノに溢れ、「この国には何でもある。ないのは希望と夢だけだ」とさえいわれる状況が一方にはあります。そんな中で「市民モラル」は低下し、“自己チュー”と呼ばれる人が増えていることも確かな事実と言えるかと思えます。

また学校教育に限定してみても、地域社会の崩壊とともに、今や子どもたちの集団づくりの場は学校の中だけに限られ、その分、集団の中で育つ人間形成のすべてを学校の責任だけにする風潮が広がっています。このような中で、学校現場の教師達はこのことに対し多くの反発を覚えながらも、子どもたちに社会生活を営む基本的なルールとなるモラル（市民道徳）を如何に身につけさせることが出来るかで、日々悩んでいることも事実であり、このことはこれからの学校教育の中で大きな課題となってくることも確かな事実です。

今回の調査研究は、上に述べたことを踏まえ、本来は地域社会々家庭環境の中で身につけていたモラルやマナーが学校教育の大きな課題と成らざるを得ない危うさを知りつつも、何処かでそれらを養っていかざるを得ないと感じている教師の思いを把握し、今後の子どもたちの社会力の向上につなげていく一助にしていきたいとの願いから考案したものです。

ですので、この調査は校長先生を通じて、日々生徒指導上の課題に接している責任者としての生徒指導主事の先生にお答え頂ければと願っています。なお、本調査は個々の学校別データを明らかにするものではなく、大きく小学校と中学校に分けて分析を試みる予定ですので校名は一切表にでる調査ではありません。ご多忙のところ誠に恐縮ですが、本調査の趣旨をご理解の上、率直なご意見をお寄せいただければ幸いに存じます。

平成 22 年 2 月 3 日

摂南大学外国語学部 教職教室

深川 一郎(研究代表)

村田 俊明

朝日 素明



問1. 生徒指導上の課題は近年富に増加傾向にあります。その中で特に増加傾向にあるのは次の事柄のどれですか。多い順に番号を付けて下さい。

- ア. 暴力行為 . . . . .  位
- イ. いじめ . . . . .  位
- ウ. 不登校 . . . . .  位
- エ. 怠学 . . . . .  位
- オ. その他 ( ) . . . . .  位

問2. 生徒指導上の課題の増加は次の事柄が大きな原因であると考えられます。そう思われる順番に番号を付けて下さい。

- ア. 家庭の教育力の低下 . . . . .  位
- イ. テレビ・ゲーム・携帯電話等|青報メディアの進展とその影響 . . . . .  位
- ウ. 格差社会による早期の生きる目標の喪失 . . . . .  位
- エ. 考える力の低下 . . . . .  位
- オ. 地域社会の崩壊による人々との絆の喪失 . . . . .  位
- カ. その他 ( ) . . . . .  位

問3. 生徒指導上の課題を未然に防止するには次の事柄のどれを行うのが一番適切ですか。そう思う順に番号を付けて下さい。

- ア. 保護者による家庭での厳しい躾 . . . . .  位
- イ. 地域社会における他の関係諸機関（警察・子ども家庭支援センター・児童相談施設 etc.）との連携強化 . . . . .  位
- ウ. 家庭訪問等による保護者とのより緊密な連携 . . . . .  位
- エ. 校則の厳罰化 . . . . .  位
- オ. 退学・停学処分等の制度導入 . . . . .  位
- カ. その他( ) . . . . .  位

問4. 社会におけるモラルハザード(倫理崩壊)の大きな要因と思われる順に番号を付けて下さい。

- ア. バブル経済崩壊後の際立った「格差社会」の到来 . . . . .  位
- イ. 幼少の頃からの消費化社会の影響 . . . . .  位
- ウ. テレビ等メディア報道・番組の低劣化 . . . . .  位
- エ. 家庭での教育力の低下 . . . . .  位
- オ. その他 ( ) . . . . .  位

問5. 今後、学校教育で、子どもたちに道徳律(モラルやマナーの基本)を身に付けさせていくにはどのような取り組みを進めていけばよいと考えますか。次に示す事柄で、そう思う順番に番号を付けて下さい。

- |                                    |        |                      |   |
|------------------------------------|--------|----------------------|---|
| ア. 日常のより一層キメ細かな生活指導                | .....  | <input type="text"/> | 位 |
| イ. より重層的な集団づくりによる好ましい人間関係の確立       | .....  | <input type="text"/> | 位 |
| ウ. 人としての生き方・価値観等を教える道徳教育のより一層の充実   | .....  | <input type="text"/> | 位 |
| エ. 率先垂範的に、教師の生き方を身をもって示す等の取組       | .....  | <input type="text"/> | 位 |
| オ. 家庭での基本的なモラルを確立するため、家庭訪問のより一層の充実 | .....  | <input type="text"/> | 位 |
| カ. その他 (                           | )..... | <input type="text"/> | 位 |

問6. 社会的な規範意識の確立に向け、学校教育に一番求められるのはどのようなことだと思いますか。次の事柄で、そう思う順に番号を付けて下さい。

- |                                    |        |                      |   |
|------------------------------------|--------|----------------------|---|
| ア. 人間の生き方としての教育理念の確立               | .....  | <input type="text"/> | 位 |
| イ. 模範となる方を学校に招く等、より一層の開かれた学校づくりの取組 | .....  | <input type="text"/> | 位 |
| ウ. 学校から道徳律を確立していくための地域と連携した幅広い市民運動 | .....  | <input type="text"/> | 位 |
| エ. その他 (                           | )..... | <input type="text"/> | 位 |

問7. 近年の小学生・中学生の意識や行動について、特徴的なことは何だと思われますか。つぎの項目から、最も当てはまるとされるもの上位3つ選んで、回答欄に記号でお答えください。なお小学校の先生は、小学生について、中学校の先生は中学生についてお答えください。

- |                      |                      |
|----------------------|----------------------|
| ア. 我がままで自己中心的である     | イ. 思いやりの気持ちが足りない     |
| ウ. 言葉による自己表現が苦手である   | エ. 友だちづくりが苦手である      |
| オ. キレやすく、衝動的である      | カ. 気持ちが揺れ動き、情緒不安定である |
| キ. 感情の発露が見えず内向的      | ク. がまん・忍耐力が足りない      |
| ケ. 進んで物事に取り組む自主性が欠如  | コ. 周りの友だちと協調することが少ない |
| サ. 規範意識が希薄           | シ. 孤立感・疎外感が深い        |
| ス. マナー意識が低い          | セ. 自己を律することができない     |
| ソ. クラスや仲間集団への所属意識が低い | タ. その他 (             |

回答欄    1位     2位     3位

問8. 近年の小学生・中学生の意識と行動の変化に対応するために、重点的に取組んでいることは何ですか。つぎの項目から、最も当てはまると思われるもの上位3つ選んで、回答欄に記号でお答えください。なお小学校の先生は小学生について、中学校の先生は中学生についてお答えください。

- |                    |                    |
|--------------------|--------------------|
| ア. 基本的な生活習慣の確立     | イ. 道徳の時間などによる生き方指導 |
| ウ. 生活リズムの改善        | エ. 学力向上をめざす教科指導の充実 |
| オ. 規範意識の向上         | カ. 子どもの悩み等に応える相談活動 |
| キ. 組織的な生活指導        | ク. 実感ある体験・ボランティア活動 |
| ケ. 自治的集団づくりと主体性の育成 | コ. 保護者の啓発・連携       |
| サ. 生徒と教師の信頼関係づくり   | シ. 学校行事を通じた集団的訓練   |
| ス. 部活動の充実          | セ. 校内環境の整備         |
| ソ. その他 ( )         |                    |

回答欄    1位     2位     3位

問9. 問8の回答欄の取り組みの成果について、どう思われますか。下の回答表において最も当てはまると思われるものの番号に○印をおつけください。

回答表

重点的取り組み 事項	おおいに成果 が上がっている	どちらかとい えば、成果が上 がっている	どちらかと言 えば、成果が上 がっていない	ほとんど成果 が上がって いない
1位 ( )	1	2	3	4
2位 ( )	1	2	3	4
3位 ( )	1	2	3	4

↑  
問8の回答欄の取り組み事項1位・2位・3位の記号をご転記ください。

問 10. 児童・生徒のゆたかな心を育むために、今後、学校が推進していくべきことは何ですか。つぎの項目から、最も当てはまると思われるもの上位3つ選んで、回答欄に記号でお答えください。なお小学校の先生は、小学生について、中学校の先生は中学生についてお答えください。上位3つを選んで記号をお答えください。

- ア. 学校道德教育の充実
- イ. 児童・生徒指導の方針・方法の見直し
- ウ. 教師の資質向上と生徒指導力量の向上
- エ. 児童・生徒と教師の信頼関係づくり
- オ. 警察や防犯協会、福祉等諸団体など学校外の教育力の導入
- カ. 厳罰主義に基づく生徒指導
- キ. 地域行事等を通じ、保護者・地域との連携強化
- ク. 体験・ボランティア活動の充実を図るカリキュラム改善
- ケ. スクールカウンセラーの相談活動の強化や密接な連携
- コ. 生徒会活動の充実による自治的集団づくり
- サ. 学校行事の充実
- シ. 部活動の活発化
- ス. その他 ( )

回答欄    1位                       2位                       3位

問 11. 上記の回答としての事柄以外で、今後学校教育で道徳律を回復していくより具体的な取組を考えておられるようでしたら、出来るだけ具体的にお書き下さい。

ご協力ありがとうございました。